

## 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
57	斐太高等学校

学校教育目標	豊かな心と主体性を育み、幅広い知識と高い学力を身に付けることで、多様な社会に対応できる創造性豊かな人材を育成します。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたり探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒</li> <li>多様性を尊重し他者と協働することができ、国際社会の持続的発展や平和に貢献することができる生徒</li> <li>地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してもグローバルな視点からアプローチすることができる生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の興味・関心が引き出され、深い学びと進路実現を可能にするバランスの取れたカリキュラムの編成とICTの活用や少人数によるきめ細かな指導</li> <li>地域や社会と連携した探究的な学習や体験活動等を通じて、教科横断的な学び、協働的な学びを推進するとともに柔軟な思考力を醸成</li> <li>生徒を主体として運営される様々な行事を通して創造的企画運営力やリーダーシップ、チャレンジ精神を育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒</li> <li>自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切にして自他の個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒</li> <li>広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト（自らの課題）として捉えることができる生徒</li> </ul>
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
<b>1 学習指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の深い学びと進路目標を実現できるよう教育活動を見直します。</li> <li>職員研修や公開授業で授業研究を行い、学んだことを授業等に生かして生徒に還元します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路決定や進路実現に効果的なカリキュラムを研究し、新たなカリキュラムを作成します。</li> <li>②大学入学共通テストや新教育課程など、変わりゆく教育環境の中で、これからの社会を担う生徒に求められる力を伸ばすため、授業内容や形態、評価の研究を行い、日々の授業の改善を図ります。</li> <li>③職員が生徒の学習や生活を適切に支援する力を付けるため職員研修を充実させます。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①新カリキュラムの作成</li> <li>②授業公開週間での教員間の交流結果 授業アンケートの実施と分析</li> <li>③月1回の職員研修の実施</li> </ul>
<b>2 進路指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に進路を考えられるようキャリア教育を充実します。</li> <li>多様な入学者選抜方式、新課程入試に対応できる支援体制を構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①外部から講師を招いて出前授業やガイダンスを開催したり、職業体験をする機会をできるだけ設けたりして、生徒が進路選択を考える機会を積極的に作ります。</li> <li>②総合型選抜、学校推薦型選抜に向けた職員研修を実施するとともに、確かな学力を築くための更なる学習支援体制を構築します。</li> <li>③新課程入試に向けた情報収集に努め、関係部署と連携を図りながら対策を練ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①各プログラムでの生徒のアンケート結果</li> <li>②総合型選抜や学校推薦型選抜などでの合格状況</li> <li>③外部模試などの結果</li> </ul>
<b>3 生徒指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりに規範意識と倫理観を体得させ、自主自律的な態度や行動を取ることができるよう支援します。</li> <li>教育相談体制を充実し連携の強化を図り、全職員による相談体制を実践します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①毎朝の登校指導であいさつを交わし、規範意識や安全意識が醸成できるよう定点観察を心掛け、必要なアプローチを全職員で共有し、学校全体で生徒を支援します。</li> <li>②WINWINの精神を根底に置き、自分とは違う他者を気遣える行動を通して思いやりのある判断ができる心を磨くとともに、自らの強みを大切にできるよう支援します。</li> <li>③支援が必要な生徒の早期発見とその生徒への適切な対応のため、常に意識を高く持ち、生徒の小さな変化を見逃さないようにします。必要に応じて外部との連携を密にします。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校評価アンケートの結果分析 交通事故調査結果と地域からの苦情の分析</li> <li>②心のアンケート居心地度調査の結果分析</li> <li>③保護者、生徒の支援状況（相談記録）</li> </ul>

<p><b>4 探究活動推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FRH(地域共創フラッグシップハイスクール)事業や、スクール・ポリシーに基づいた総合的な探究の時間の取組を推進します。</li> <li>・探究的な学びの充実に向けて取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①FRHの取組や総合的な探究の時間の運用について、生徒一人一人の興味・関心が引き出されるような工夫をし、柔軟に推進します。</li> <li>②地域、外部機関と連携を取り、生徒の可能性を広げる工夫をします。</li> <li>③生徒が社会資源と接触できる機会を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各プログラムや学校評価アンケートの結果分析</li> <li>②生徒のレジュメ、プレゼン内容</li> <li>③外部講師による講義や学校外活動の充実</li> </ul>
<p><b>5 図書広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による図書委員会の活動を中心に図書館の環境を整えます。</li> <li>・ホームページを基本とした時宜にかなった広報活動の運営と内容の改善を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の読書活動を促すために行事等との連携を図り、生徒とともに教員向けの図書館便りを発行するなど全校を対象として図書館利用を働きかけます。</li> <li>②他の分掌、学年、各部活動とも連携して情報を共有し、スピーディーに発信します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各クラスの図書の貸出し数、図書館の利用頻度の確認</li> <li>②各種アンケートでの結果の分析</li> </ul>
<p><b>6 特別活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動への主体的参画と多様な他者との協働を目指し、行事を生徒中心に学校全体で取り組みます。</li> <li>・学校生活の充実と新たな時代の創造を目指し、生徒会活動の活性化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①集団活動への主体的参画と多様な他者との協働を目指し、学校行事を生徒中心に学校全体で取り組む。</li> <li>②学校生活の充実と新たな時代の創造を目指し、生徒会が中心となって生徒の意見をとりまとめ生活指針検討会議に提案します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①行事後の生徒アンケート結果</li> <li>②生徒会による生活指針改定案の作成</li> </ul>
<p><b>7 保健厚生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣を確立させ生活リズムを整えるとともに、自主的な健康管理を促進します。</li> <li>・防災に対する意識の向上と危機管理体制の確立を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的感染対策の徹底を推奨し、健康管理を意識づけるために掲示物を作成します。</li> <li>②命を守る訓練などを通して、自助公助の精神を養います。</li> <li>③公文書などによる情報発信を迅速かつ的確に収集します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康管理を呼びかける毎月の掲示物の作成</li> <li>②年3回命を守る訓練を実施</li> <li>③アンケート等による運営状況の確認</li> </ul>
<p><b>8 渉外</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会・同窓会行事の中で、生徒と保護者・卒業生との関わりを提供し、多様な人間関係の中で深く幅広い学びの場を創出します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①育友会や同窓会と連携し、よりよい行事实施の形を考えます。</li> <li>②行事の中で生徒と保護者・同窓生との関わる時間や場を設けられるように提案します。</li> <li>③会報誌により育友会・同窓会の活動について広報し相互理解を深める機会を作ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アンケートによる保護者の満足度調査</li> <li>②行事での保護者・卒業生と生徒との交流の場の設定</li> <li>③会報誌の準備・発行・配付までの経過と内容に関する意見の分析</li> </ul>
<p><b>9 学校経営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が心身ともに健康で、気持ちよく働くことができる職場を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員の業務平準化、在校時間短縮を目指し、超過勤務内容の検証を行って、業務改善と働き方の改革を行います。</li> <li>②ハラスメントやメンタルケアの早期発見と解決を促進します。</li> <li>③不祥事根絶の啓発を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出退勤システム「勤次郎」の実績</li> <li>②ストレスチェック等、職員のメンタルチェック数値の改善</li> <li>③チェックシートによる意識確認と内容の検証</li> </ul>